

問 将来を見据えた政策の検討を

答 市の組織を生かした施策を進める



滝 健一 議員

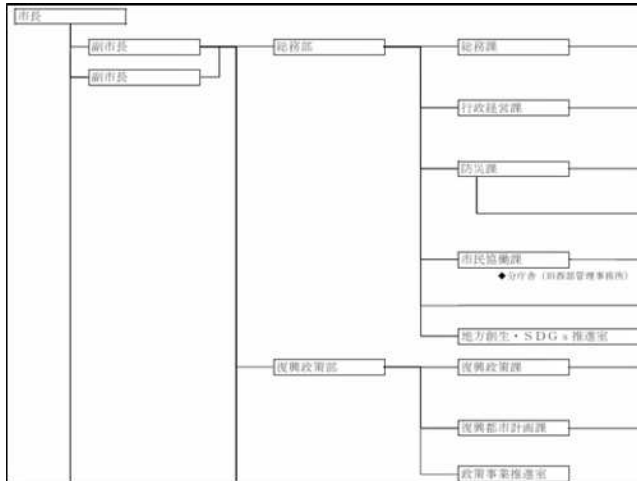
市との連携など、本市の安全、安心や経済活力向上等につなげる。

市業務の一部に地方独立行政法人のような組織の活用する考えは。

法人組織制度を活用することは難しい。

生ごみとなる食品ロスの取り組み方は。

食育事業と連携し、正しい食生活の重要性の周知、地区単位でのごみ



▲市の組織改変



減量化説明会を開催し、食品ロスを減らす取り組み事例などを周知する。

市民感覚を生かした防災減災の取り組み方。

自助から共助までの市民防災力のさらなる推進のため、総合防災訓練や自助意識の向上、共助

防災体制の拡充、防災教育の推進などで防災力の強化を目指す。

副市長2人制は大きな効用をもたらした。震災復興が前進し、将来に渡っては元に戻すべき。

副市長の人脈を生かした要望活動により増額した特別交付税等や各事業への国県補助金の適用など、各事業で副市長2人制のメリットが生じており当面副市長2人制を堅持していく。

東京2020オリパラを活用したアイデアは。聖火到着式と聖火リレーを契機に、宮城県オリパラ大会推進局と相談し、取り組みを進める。

問 避難所の不備を見直せ

答 不備の改善に取り組む



阿部としゑ 議員

避難所の出入口に車椅子用のスロープを設置すべき。

平成20年度以降に整備した体育館には車椅子用のスロープを設置している。それ以前の各小学校には未設置。今後、施設改修時に順次整備をする。当面、簡易的なスロープを設置し対応する。

トイレの表示等。トイレ表示を文字表示の他に、扉表面にスカートやズボンの形の白黒印刷したもの張り付けていたが、利用者にわかりやすいカラー印刷に変更する。和式トイレについては、計画的に洋式トイレへ改修する。

福祉避難所の周知。災害が発生した場合、市が開設する指定避難所が困難と判断される方がいる場合、二次的に受け入れる避難所を福祉避難所として開設する。混乱を回避するため、指定避難所での生活が難しい方に限定している。広報紙などで周知する。



▲避難所での生活

災害が発生した場合、市が開設する指定避難所

が困難と判断される方がいる場合、二次的に受け入れる避難所を福祉避難所として開設する。混乱を回避するため、指定避難所での生活が難しい方に限定している。広報紙などで周知する。

栄養不足は解消されたか。

学校給食の実施にあたり、条件を満たすように努めている。

給食費の値上げは。栄養素を満たす多様な食材や地場産品を使用し献立作成すると値上げが必要。令和2年度から1食あたり④10円値上げし275円、⑤9円値上げし335円に改定したい。

今後の給食の在り方

教育長へ質問